

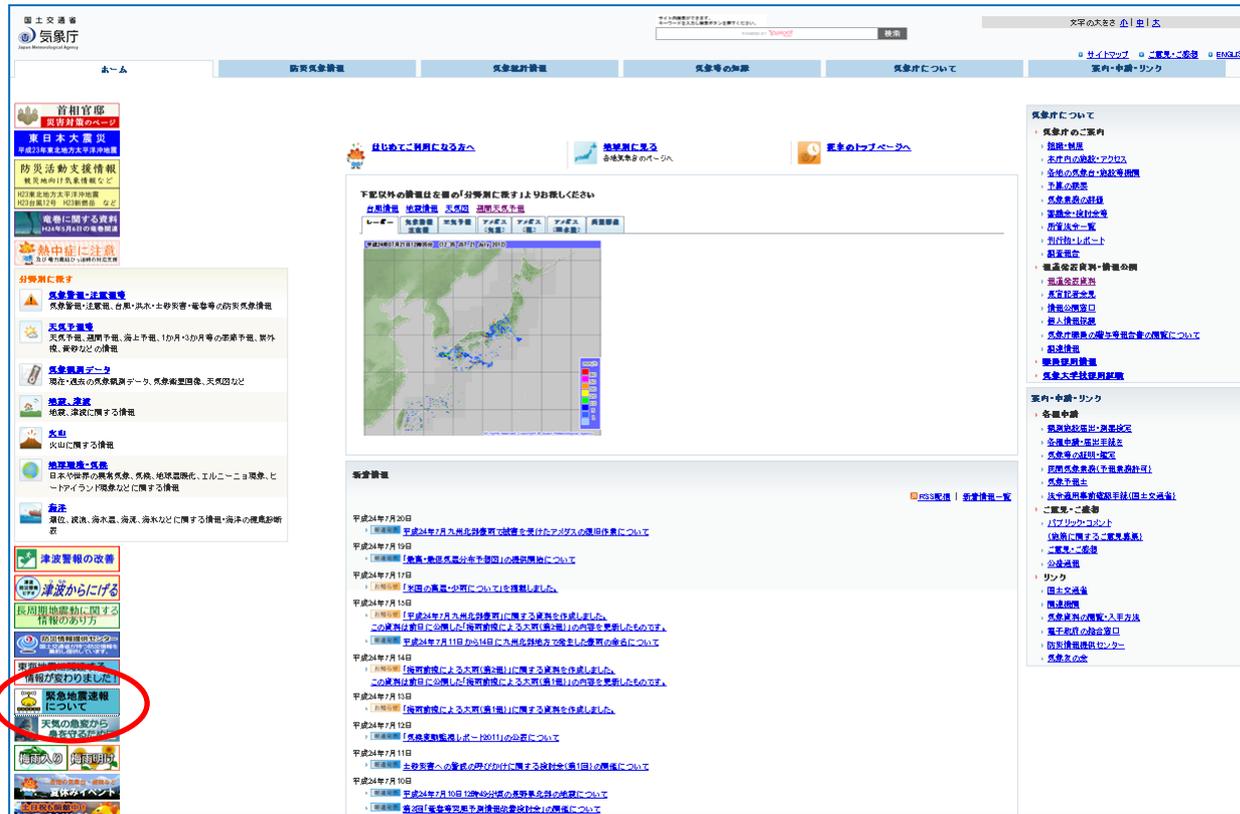
緊急地震速報を取り入れた避難訓練

学校で行われる防災訓練の中に、地震による強い揺れを事前に知らせる緊急地震速報を受信した想定を避難訓練に盛り込むことにより、児童生徒自らが適切な対応行動を取り、その場に応じた避難ができるようになる。

気象庁では、緊急地震速報を理解し、有効に利活用して頂くため、官公庁、**学校**、事業所等で実施される防災訓練のなかで緊急地震速報受信時の対応行動訓練を実施して頂けるよう、訓練用キットを作成。



訓練用キットの入手方法



気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>) の



をクリックして、「緊急地震速報の利活用の手引き及び緊急地震速報受信時対応行動訓練用キット」のページから入手できます。



緊急地震速報受信時対応行動訓練用キット

1. 映像の概要

- | |
|------------------------|
| 1 訓練概要説明（アナウンス） |
| 2 訓練開始報（アナウンス） |
| 3 緊急地震速報放送（アラーム＋アナウンス） |
| 4 地震発生（効果音） |
| 5 避難行動開始案内（アナウンス） |
| 6 訓練終了報（アナウンス） |

2. 想定した地震

訓練用キットは、全国の機関で活用できるように、8つの地域における地震を想定し作成しました。

なお、訓練に活用する際には、一度お手持ちのパソコンにダウンロードした後、再生して下さい。

（例）和歌山県南方沖映像



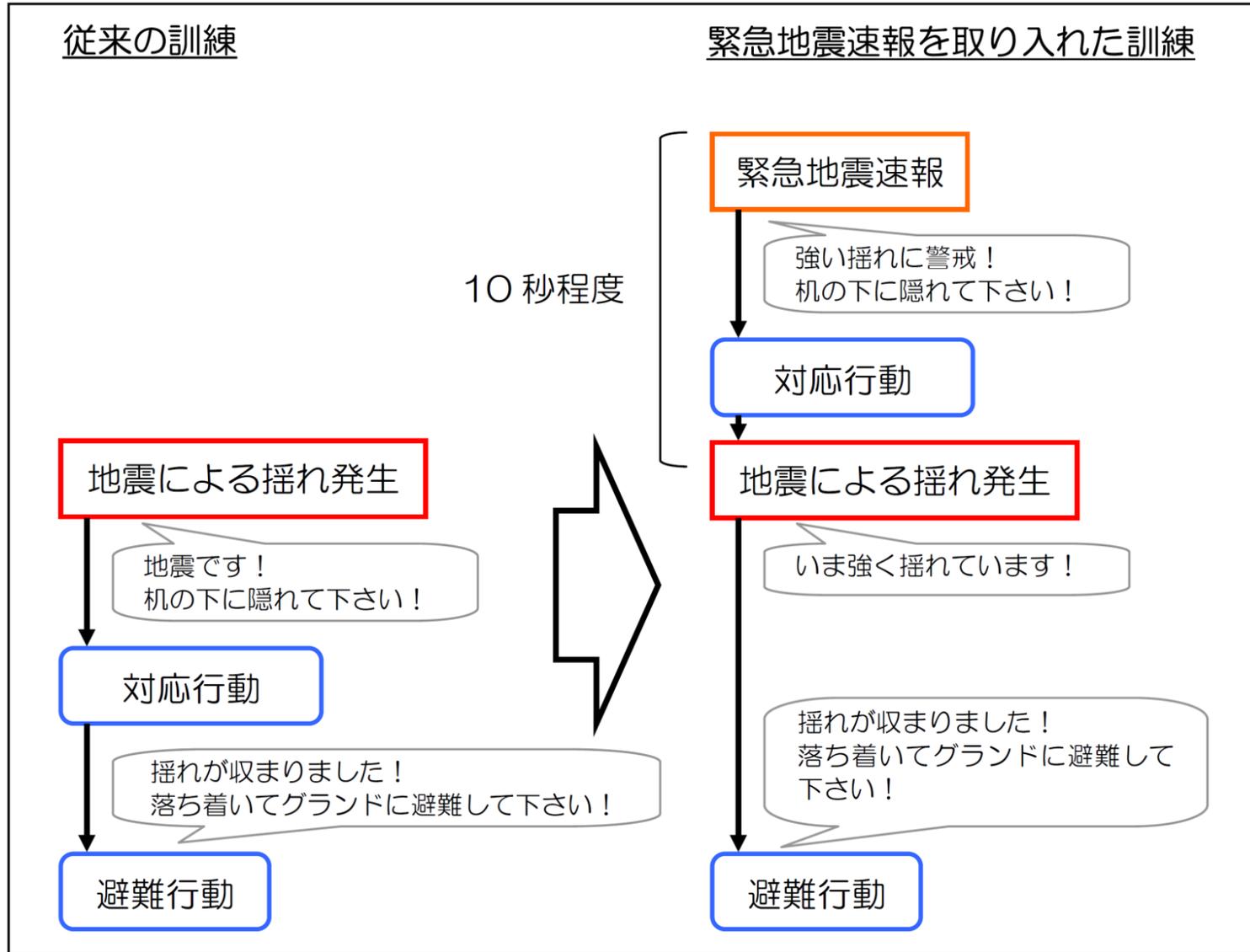
緊急地震速報受信時対応行動訓練用キット

3. 訓練用キットを用いた訓練例（小学校等）

| 実時間例 | 経過時間 | 放送内容 | 訓練行動例 |
|--------|---------|--------------|----------------------------|
| 13:58 | | 1. 訓練概要説明 | |
| | 0:01:35 | 2. 訓練開始報 | |
| | 0:01:50 | 3. 緊急地震速報 | 適切な対応行動を取る (机の下に潜るetc.) |
| 14:00 | 0:02:00 | 4. 地震による揺れ発生 | 対応行動を継続 |
| | 0:02:25 | 5. 避難行動開始案内 | 避難行動を開始（校庭 に避難するetc.） |
| 14:01頃 | 0:02:40 | 6. 訓練終了報 | （避難行動等を継続 etc.） |



避難訓練のシナリオ



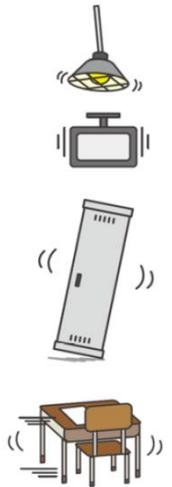
訓練計画例

事前準備 ②

【校内の危険箇所確認】

実際に学校の施設内を歩き、以下の着目点から判断して下さい。

- ・ 地震発生時に照明や掲示物などが落下する恐れがあるか？
- ・ 窓ガラス等、破片が飛び散る恐れがあるか？
- ・ 本棚など大きな物品が倒れる恐れがあるか？
- ・ 机の下など、安全を確保できるスペースがあるか？



・・・など



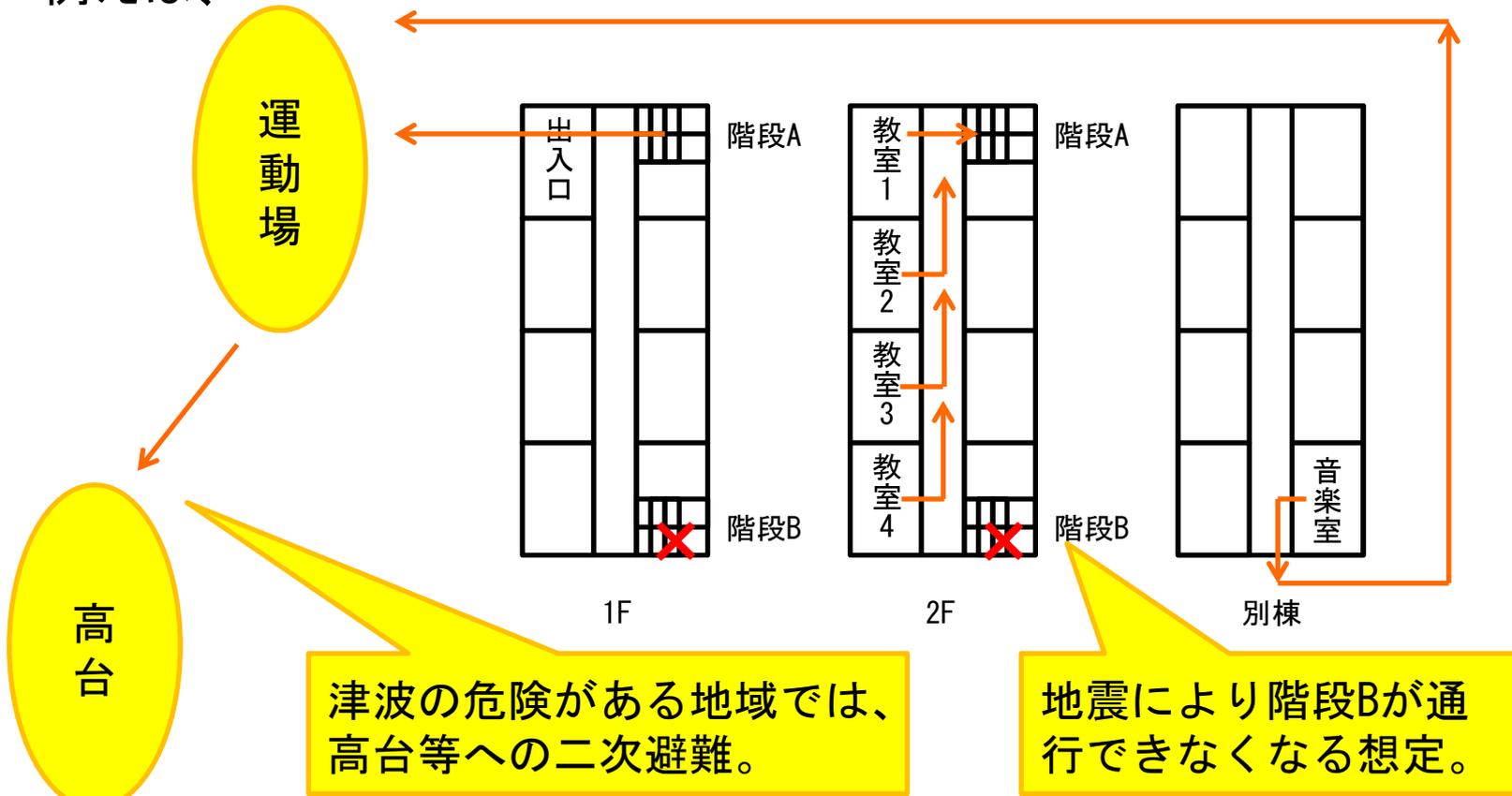
訓練計画例

事前準備 ③

【避難経路、集合場所の確認】

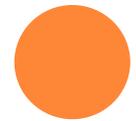
各学校の状況、地震の被害想定に応じて避難経路を計画する。
なお、地震によりあらかじめ定めておいた避難経路が使えなくなる可能性もあり、複数の経路を設定しておく必要があります。

例えば、



津波の危険がある地域では、高台等への二次避難。

地震により階段Bが通行できなくなる想定。



訓練計画例

事前準備 ④

【教職員の役割分担確認】

各学校の状況に応じて、教職員の役割分担を割り振る。
例えば、

| 役割 | 担当 | 内容 |
|-------|-------|--|
| 総括 | 教頭 | 訓練の総括。 |
| 本部 | 校長他4名 | 全体を掌握し、状況に応じた対応を検討・指示。 |
| 計時 | 1名 | 避難開始から完了までの時間を計測。 |
| 放送・連絡 | 2名 | 緊急地震速報を流し、避難指示を放送。 |
| 安全確認 | 全教員 | 階段付近の授業担当者は、階段の安全を確認。 |
| 避難誘導 | 全教員 | 避難する時、「押さない、走らない、話をしない、後戻りしない」で安全・迅速に避難するよう誘導。 |
| 人数確認 | 学年主任 | 生徒からの報告を受け、状況を本部に連絡。 |
| 救護 | 養護教諭 | けが人の応急処置、病人など確認。 |

訓練計画例

事前準備 ⑤

【緊急地震速報受信の想定】

現在、多くの学校では、緊急地震速報を入手する設備が整っていない。



県内では、学校への緊急地震速報の利用を5カ年計画で進めている。



それまでの間を想定して、

- (ア) 教職員の携帯電話に緊急地震速報の『エリアメール』を受信し、校内放送で知らせる。
- (イ) テレビ、ラジオ等で、緊急地震速報を入手し、校内放送で知らせる。
- (ウ) 緊急地震速報を学校で入手できるようになった場合を想定して、『緊急地震速報受信時対応行動訓練用キット』で、その概要にそって実施する。

訓練計画例

事前準備 ⑥

【いろいろな場面の想定】

教室では「机の下にもぐって、机の脚をしっかりとつかむ」行動訓練ができますが、机がない場所にいる場合も想定。

- ・ 体育館
- ・ 運動場
- ・ 休み時間
- ・ 清掃時間

など



訓練計画例

A校の計画例

1. 目的 ○地震の恐ろしさに対する理解を深め、自己の安全を積極的に守ろうとする態度を身につける。
○緊急地震速報に対する正しい理解と活用の仕方を身につける。

2. 日時 平成23年7月13日(水)
13:40~14:30(5校時)

3. 想定 地震(予知)

4. 避難場所 校庭(体育館)

5. 流れ 13:40 各学級で緊急地震速報をキャッチ(YOU TUBE)
校内アナウンス

6. 出前講座(体育館)

7. 役割分担

8. 留意点

司会()

(松江地方気象台より)

- ①東日本大震災(3.11) 島根県東部(6.4)
- ②地震のメカニズム等について

「緊急地震速報が入りました。強い揺れに警戒してください。
頭を防いで机の下に入って下さい。」

校内アナウンス
「揺れが収まりました。全員、周囲の安全を確かめながら、
校庭に避難してください。」



- 避難準備・開始(教師は先頭と後尾につける)
- 避難完了・人員確認(担任→教頭)
「〇年生在籍〇名、欠席〇名、現在〇名、異常ありません」

○講評 教頭

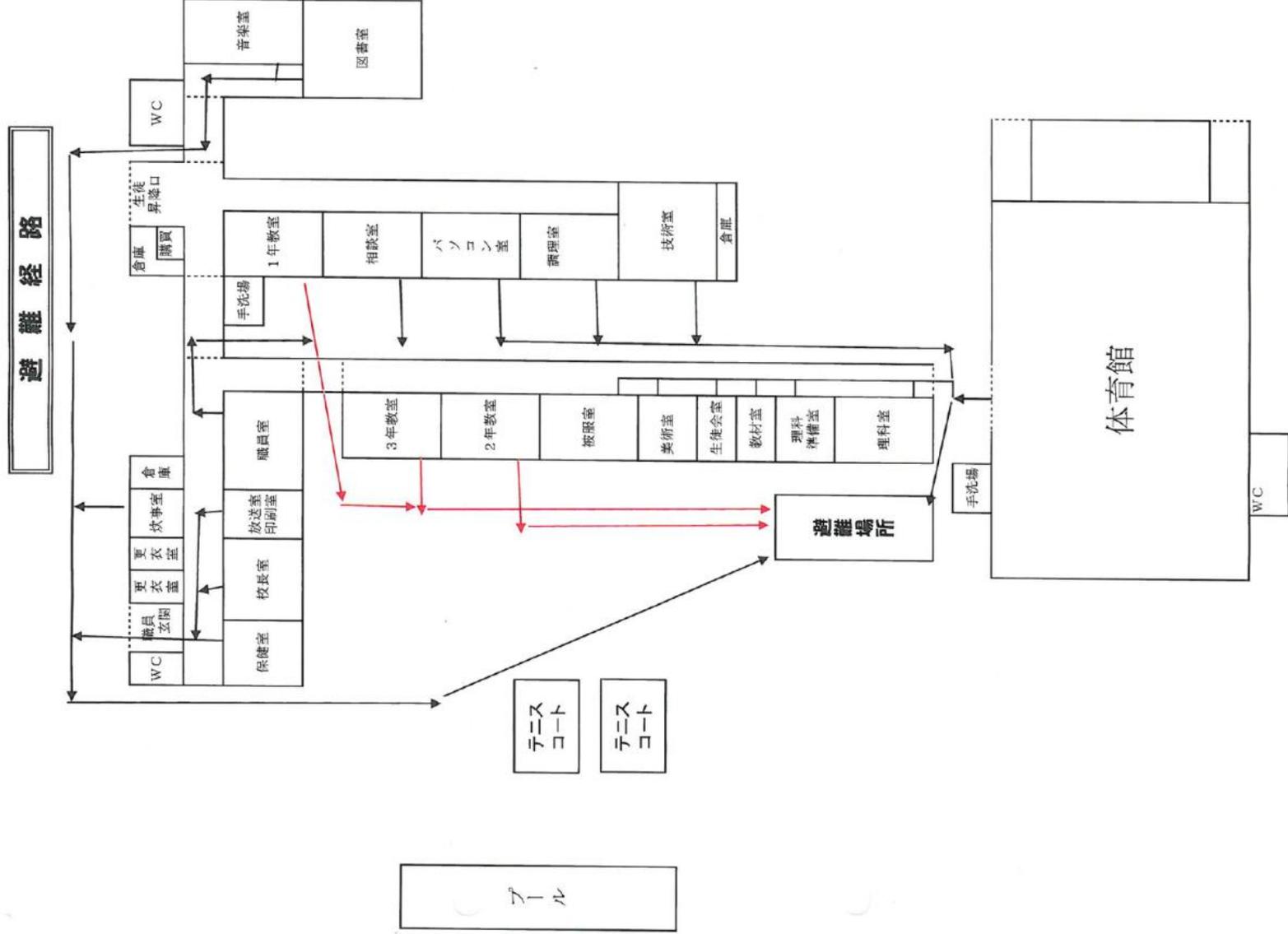
| | |
|----------------------|--|
| 総指揮(判断命令) | |
| 総括(計時) | |
| 緊急放送 | |
| 避難誘導 | |
| 救護 | |
| 雑巾準備・片付 | |
| プロジェクター・パソコン・スクリーン準備 | |

- ・避難経路の確認をする。
- ・ガラスの破損に対する対応でカーテンを閉める。
- ・落下物から身を守るために、頭を防御する。(カバン等で頭を覆う)
- ・生徒へ沈着冷静に行動するように指示する。
「おさない」「はしらない」「しゃべらない」「もどらない」
- ・校内に残留生徒がいないことを確認する。
- ・火事の発生を想定して、窓・ドアは閉める。
- ・体育館入り口前に置いた雑巾で上履きをよく拭いて体育館へ入らせる。
- ・関係機関(公民館 小学校 駐在所)へ連絡する。



訓練計画例

A校の計画例



訓練計画例

B校の計画例

1. 目的

(1) 緊急時において、適正に判断する態度と、敏速かつ統制のとれた行動を身につけさせる。

(2) 防火・防災に対する意識を高める。

2. 期日

平成23年 6月14日(火) 5校時(14:00 ~ 14:50)

3. 実施要領

(1) 事前指導(各学級で緊急地震速報対応行動 DVD 視聴、説明)

- ①緊急地震速報についての DVD の視聴
- ②地震、火災発生時の対処の仕方、避難経路と集合場所の確認。

③避難方法

- ア。「緊急地震速報 CD」を用いて放送のアナウンスがあったら、話をやめる。
- イ。放送並びに教職員の指示に従う。(余震がおさまるまで待機)
- ウ。近くにいる生徒と力を合わせ迅速に行動する。
- エ。校舎内は早足で、無言で移動する。

③注意事項

- ア。避難時の3原則は、「押すな」「走るな」「しゃべるな」を守ること。
- イ。階段では、下の階のものが優先して避難する。
- ウ。誘導者(教職員)の指示に従うこと。
- エ。上履きのまま避難すること。

④人員確認の方法と流れ

- ア。男女の学級委員がそれぞれ人員を確認し、教科担当に報告する。
- イ。報告の仕方は、
「〇年△組 総員〇〇名 欠席〇名 現在員〇〇名 異常なし」
「◇◇君(さん)が不明です」
- ウ。報告は、学級委員→教科担当→教頭→校長の順で。

(2) 教職員の役割分担

- ①緊急地震速報 CD 放送
- ②計 時
- ③避 難 誘 導……授業担当者
1 A …… 2 A …… 3 A …… おおぞら ……
- ④救 護
- ⑤巡 視… (1 F) …… (2 F) …… (3 F) ……
- ⑥搬 出
- ⑦避難場所(体育館) ……校長(安全旗)

※事前準備: 体育館 プロジェクター、パソコン、スクリーン、マイク

(3) 実施要領 (地震時における避難訓練)

| 事 項 | 時刻 | 留 意 点 |
|---|------------------|---|
| *事前指導 | 14:00 | ・各学級で、「(1)事前指導について」をもとに事前指導を行い避難経路・方法について確認する。 |
| ①ただ今より、緊急地震速報対応訓練を開始します・ ②緊急地震速報 CD を放送 【 : 】 | 14:05 約1分 | ・カーテンを閉める。出口を開ける。机の下等に避難し、指示を待つ。 |
| ③緊急放送 【 : 】 1) <放送>①「揺れが収まりました。周囲の安全を確認し、落ち着いて体育館へ避難しなさい。(2回)」 | 14:07 14:07 | ・2度、アナウンスする。 ・アナウンスに集中させる。 ・暖房機のスイッチ OFF (職員室操作) ・教室の電灯 OFF。 ・戸は開けたまま。 ・避難の際、教科書等で頭を保護しながら移動することを指示する。 |
| ④誘導・指示 | 14:09 | ・教科担任は避難を指示(出席簿持参) ・廊下に並ばせる。 |
| ⑤避 難 <体育館> | 14:10 ~ | ・避難状況を観察する。観点は①真剣に取り組んでいるか。②3原則が守られているか。③教科書頭部保護しているか。 |
| ⑥集 合 確認と報告 | ~ 14:15 | ・校長は避難場所に安全旗を立てて、位置を示す。 ・全校集会の隊形に集合させる。 ・人数確認、報告状況のチェック。 |
| ⑦講 評 まとめ | 14:15 ~ 14:50 | ・避難状況の評価を行う。(各担当) ・校長先生のお話 ・松江气象台の方の話 ・生徒代表お礼の言葉 |

(4) 事後指導

- ・学級活動や短学活で、日常生活における防災について指導をする。

訓練計画例

B校の計画例

<流れ>

CDを用いて流す。実施要領の①、②

ただ今より 緊急地震速報対応行動訓練を実施します。

まず、地震による大きな揺れがまもなく到達することを伝える緊急地震速報のアラーム音アナウンスの放送がされます。

その後10秒後に大きな揺れが到達したことを伝える効果音が放送されます。

地震が収まり次第、避難行動開始を伝えるアナウンスが放送されます。

訓練に参加される皆様は、緊急地震速報のアラーム音及びアナウンスを聞き次第身の安全を確保する行動をとってください。

また、揺れがおさまり次第避難行動を開始してください。

なお、本訓練で使用したアラーム音及びアナウンスは本訓練に際して作成したものであり、実際に地震が発生した際に放送されるものではありません。(1分24秒)

(間 約10秒)

(1分35秒)

ただ今より、緊急地震速報対応避難訓練を実施します。

(1分50秒) 効果音： 緊急地震速報です。強い揺れに警戒してください。
緊急地震速報です。強い揺れに警戒してください。

10秒後

(2分00秒) 効果音： 地震の揺れ(約20秒)

CDはここまで。(効果音が終わればきる)

校内放送 () 実施要領の③

(2分27秒) 地震がおさまりました。

周囲の安全を確認し落ち着いて体育館へ避難してください。

(2回)



訓練計画例

C校の計画例

- 1 想定災害 地震（緊急地震速報を活用して）【授業中】
- 2 ねらい ・緊急地震速報を見聞きしてからの身を守るための行動を取ることができるようにする。（児童・教職員）
・地震発生の際、教職員が児童を安全にかつ迅速に誘導、避難させることができるようにする。（教職員）
・児童は、地震発生の際の避難の仕方を知るとともに、教職員の指示に従って、整然と行動できるようにする。（児童）
- 3 日時 平成23年6月24日（金）10：10～10：30
- 4 避難場所 校庭避難場所
- 5 講師 松江地方気象台より2名
- 6 事前指導 ・緊急地震速報について・・・研修会資料P3～P6参照（しくみとその後の対応）
・地震発生の際の避難のしかたについて・・・研修会資料P6～P7参照（第1次避難・第2次避難）
・避難経路の確認
- 7 手順 10：10 緊急地震速報、第1次避難
10：11 地震発生
10：13 放送にて避難開始
10：16 避難完了
松江地方気象台の方の講評
校長先生のお話 諸連絡
10：30 避難訓練終了・反省
- 8 訓練手順
- (1) 緊急地震速報・地震発生から避難通報まで
・緊急地震速報訓練キットCD、避難指示放送… 教頭（不在時は職員室にいる教職員）
- 第1報 (J) 緊急地震速報 1分程度の説明の後、訓練が開始
(CD)『ただ今より、緊急地震速報対応訓練を開始します』
(CD)『緊急地震速報です。強い揺れに警戒してください。【第1次避難】
(2回)』
(CD)『すぐに地震音が流れる』
- 第2報 (J) 『揺れが収まりました。周囲の安全を確認し、落ち着いて校庭の避難場所に避難してください。(2回)』
『避難はじめ。』 ※雨天時・・・体育館に避難 【第2次避難】
- 9 避難の手順
- (1) 緊急地震速報（第1報）がはいったら、授業者は直ちに学習・諸活動を中断し、机の下に避難させる。
（体育館の場合は、中央部をさけ、落下物のない安全なところに集合させる）
カーテンを閉め（ガラス割れ防止）、避難口を確保するため入り口は開けておく。
- (2) 緊急放送（第2報）があったら、児童を避難誘導する。
- (3) 避難にあたっては、身近で頭を保護するものを持ち、落下物でけがをしないように注意させるとともに、「お・は・し・も」の約束を守らせる。校舎を出たら小走りで早く避難場所に集合させる。

- (4) 避難経路上で複数学年が重なった場合は、下学年を優先させる。
- (5) 校長は、非常用持ち出しファイル（児童名記載のもの）をもっていく。
- (6) 避難場所に児童を整列させる。出席番号順に整列させ、人数確認後、無言で着席の指示をし児童を座らせる。
- (7) 避難状況をただちに校長に報告する。
○年生 ○名 全員異常ありません
○年生 ○名中、欠席○名 ○名避難 異常ありません
- (8) その他
①緊急通報 … 校長（訓練通報指示）
②緊急放送 … 教頭
③校舎内を巡視し、避難遅れの児童があった場合は誘導する。校長への巡視状況の報告 … 担任外職員

10 指導事項

- (1) 放送を最後まで聞き、教職員の指示により行動すること。
- (2) 「お・は・し・も」の原則の徹底
- (3) 上履きのままで、避難すること。
- (4) 頭を保護するものを携行すること。
- (5) 校舎内は走らないこと。校庭に出たら小走りで集合すること。
- (6) 出口は混み合うので、押したり走ったりしない。
- (7) 避難経路上で複数の学年が重なった場合、臨機応変に、すばやく避難できるように声がけを行う。
- (8) けがをしている児童がいた場合は、職員相互で対応を決め、安全に避難できるように声がけを行う。
- (9) 校庭に出たら静かに出席番号順に整列して指示を待つこと。

11 当日の役割分担（時系列にしたがって）

- (1) 校長 … 指示、本部
- (2) 教頭 … 緊急放送、本部設営、放送終了後から避難確認までの時間計測
- (3) 学級担任 … 学年別に児童を整列させる。
- (4) 担任外 … 校内巡視
体育館、外回り ………………
保健室、ランチルーム、東階段、2階……………
昇降口、理科室、1・2・とびうお教室、図書室……………
（※保健室で休養中の児童がいる場合は、養護教諭はその対応に専念し、その旨を他職員に知らせる。）
- (5) 教務 … 終了後の時程など連絡
・上履きを洗い、ぞうきんでふくこと
1・2・3・4年 … 理科室前足洗い場
5・6年 … 昇降口前足洗い場
・ぞうきんの用意・片付け …

12 評価の視点

- (1) 緊急地震速報を聞いた後の身を守る行動はできたか？
- (2) 教職員の事前指示・指導、準備、役割分担は適切だったか。短時間で児童を避難させ、安全確認ができたか？
- (3) 児童は避難開始から終了までの指示をよく聞き、「お・は・し・も」の約束を守って行動することができたか？

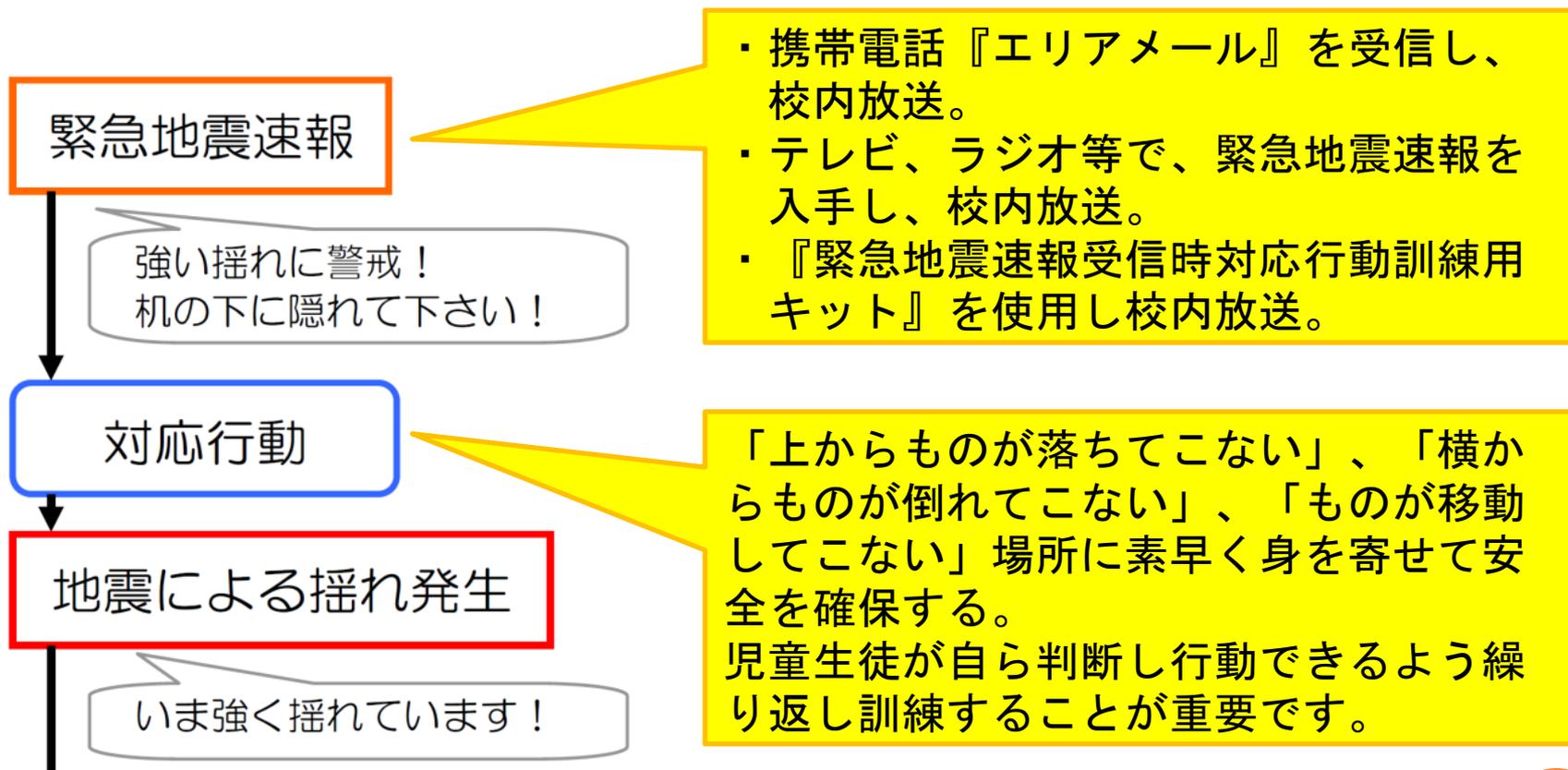
13 その他

- (1) 当日、出張等で不在の職員がある場合、適切に対応する。
- (2) 担任は、実施の状況をもとに事後指導をする。



避難訓練の対応行動・避難行動

緊急地震速報を取り入れた訓練



避難訓練の対応行動・避難行動

地震による揺れ発生

いま強く揺れています！

揺れが続いている間は、身を守る姿勢を継続する。

揺れが収まりました！
落ち着いてグラウンドに避難して下さい！

避難行動

地震によりあらかじめ定めておいた避難経路が使えなくなる可能性もあり、複数の経路を設定しておく必要があります。

津波が予想されます！
すぐに高台に避難して下さい！

避難行動

津波の危険がある地域では、校内高所、校外高台等への避難訓練も必要です。